



付いているよ!
その指先に、手のひらに

平成 29 年 1 月 18 日
富山県感染症情報センター

(直 0766-56-5431)

(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

(平成 29 年第 2 週分・1 月 9 日～1 月 15 日)

手を洗いましょう〜

《 インフォメーション 》

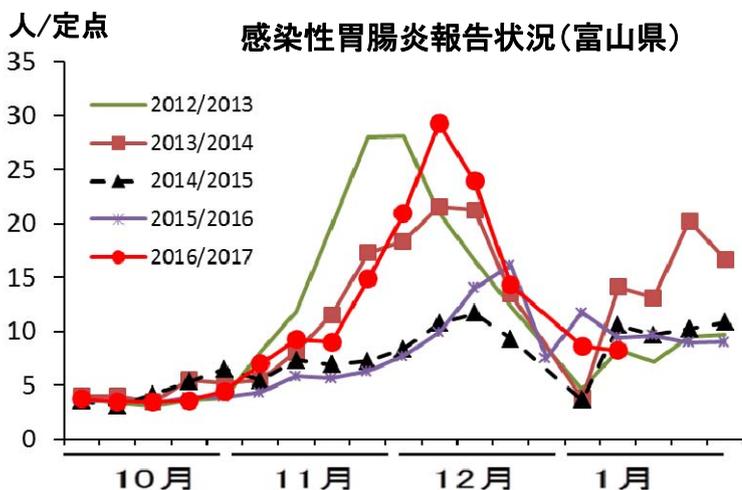
●感染性胃腸炎

今週、感染性胃腸炎の報告数が定点あたり 8.24 人となり、先週 (8.66) から減少しました。この疾患は、冬に報告数が増加する傾向があり、今シーズンも 11 月以降、報告数が増加し、現在は報告数が減少傾向にあるものの、引き続き注意が必要です (右図参照)。

感染性胃腸炎とは、下痢・おう吐・腹痛などの消化器症状を主体とした疾患群の総称です。様々な細菌やウイルスが原因となりますが、この時期はノロウイルスがほとんどを占めます。保育所や高齢者施設等での集団感染や、飲食店等での食中毒には特に気をつける必要があります。

ノロウイルスは腸で増え、患者の便や吐ぶつには大量のウイルスが存在します。また、症状が無くてもウイルスを排出している場合もあります。感染予防の基本は手をよく洗うことです。次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を予防しましょう。

ノロウイルスは腸で増え、患者の便や吐ぶつには大量のウイルスが存在します。また、症状が無くてもウイルスを排出している場合もあります。感染予防の基本は手をよく洗うことです。次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を予防しましょう。



- 帰宅時、食事前には家族全員が流水で手を洗う (石けんの使用は効果的)。
- 調理従事者は特に体調管理に気を付け、調理前やトイレの後は必ず手を洗う。
- 嘔吐物や下痢便を処理するときは、使い捨てのマスク・手袋を使用し、汚物をペーパータオル等で拭き取り後、塩素系漂白剤※で浸すように拭き取る。

※家庭用塩素系漂白剤を水 500ml に対し 10ml の割合 (各商品の使用上の注意をよく読んでからご使用下さい)

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 3 件 (①80 歳代、女性 ②90 歳代、男性 ③50 歳代、男性
①②は第 1 週診断分)

四類感染症 レジオネラ症 1 件 (第 1 週診断分: 70 歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 後天性免疫不全症候群 1 件 (第 52 週診断分: 50 歳代、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	インフルエンザ	9.98	7.06	↑
2 位	感染性胃腸炎	8.24	8.66	↓
3 位	流行性耳下腺炎	2.31	1.93	↑
4 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.07	0.59	↑
5 位	R S ウイルス感染症	0.83	1.03	↓
6 位	咽頭結膜熱	0.69	0.52	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第2週 平成29年1月9日～平成29年1月15日）

分類	疾患	今週報告分（第2週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核					1	1					3	3
四類感染症	レジオネラ症									1		1	2
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症											1	1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	78	48	116	101	136	479	163	73	173	194	215	818
		11.14	9.60	8.92	14.43	8.50	9.98						
	RSウイルス感染症	1		2	2	19	24	4	1	4	4	41	54
		0.25		0.25	0.50	1.90	0.83						
	咽頭結膜熱		1	11	2	6	20		5	18	3	9	35
			0.33	1.38	0.50	0.60	0.69						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	1	10	8	8	31	7	4	11	12	14	48
		1.00	0.33	1.25	2.00	0.80	1.07						
	感染性胃腸炎	47	37	31	21	103	239	107	74	78	38	193	490
		11.75	12.33	3.88	5.25	10.30	8.24						
	水痘			2	2		4		4	3	3	8	18
				0.25	0.50		0.14						
	手足口病			1			1			7			7
				0.13			0.03						
	伝染性紅斑											1	1
	突発性発しん	1		5	2	2	10	3		7	2	2	14
		0.25		0.63	0.50	0.20	0.34						
	ヘルパンギーナ			1			1			1			1
				0.13			0.03						
流行性耳下腺炎	3	1	44	7	12	67	7	2	69	12	33	123	
	0.75	0.33	5.50	1.75	1.20	2.31							
流行性角結膜炎			1	1		2			1	1		2	
			0.50	1.00		0.29							
マイコプラズマ肺炎	1		1		1	3	1		2	2	1	6	
	1.00		1.00		1.00	0.60							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）					1	1					1	1	
					1.00	0.20							
インフルエンザによる入院患者（*）	1			6	4	11	6	2	9	28	25	70	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

* インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成28年第36週(9月5日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

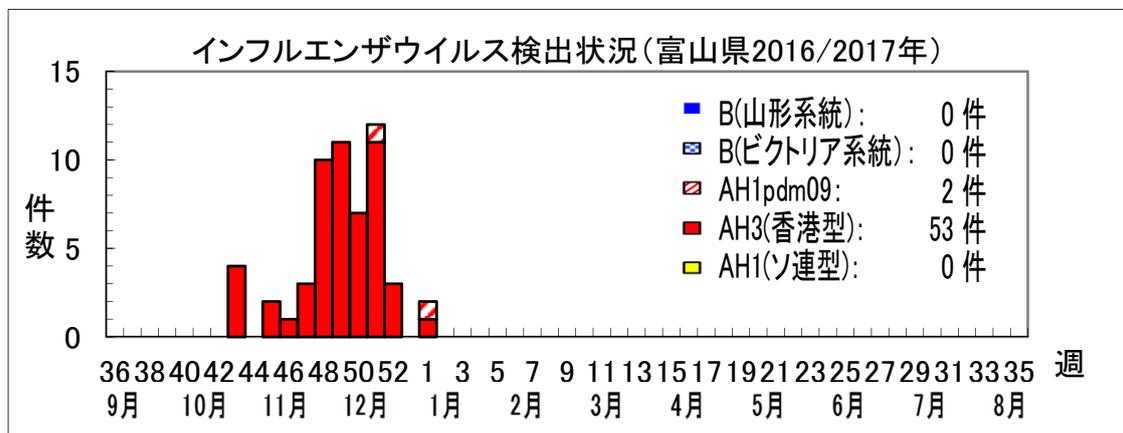
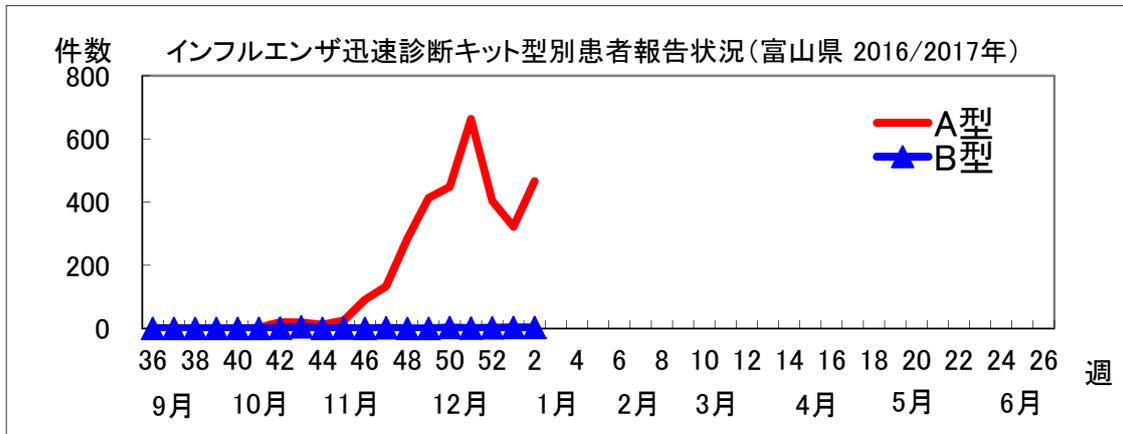
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。現在、下の表によると、A型が97.3%となっています。

第1週(1/9~1/15)：富山県 9.98人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	77	1		78
中部	4 / 5	44		4	48
高岡	13 / 13	111	1	4	116
砺波	7 / 7	101			101
富山市	15 / 16	133	1	2	136
富山県	45 / 48 ^{※1}	466	3	10	479
富山県累計(2016年36週~)		3,302	21	99	3,422

※1 報告定点数の例(45/48の場合):48の定点医療機関の内、インフルエンザと診断した医療機関は45か所で、残りの3か所はインフルエンザの診断がなかったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



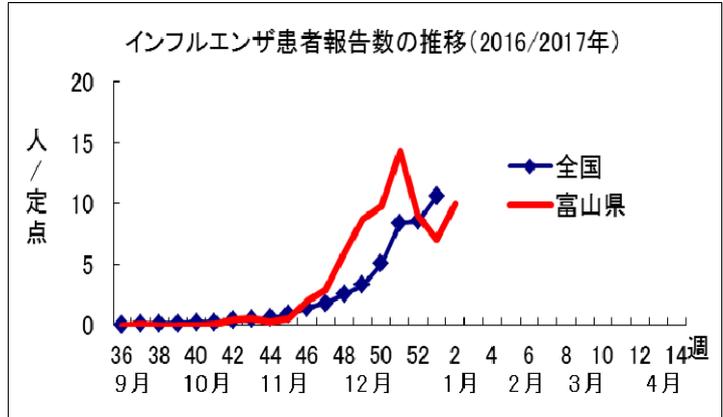


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第2週 (1/9~1/15) : 富山県 9.98 人/定点

新川 HC (11.14)、中部 HC (9.60)、高岡 HC (8.92)、砺波 HC (14.43)、富山市 HC (8.50)

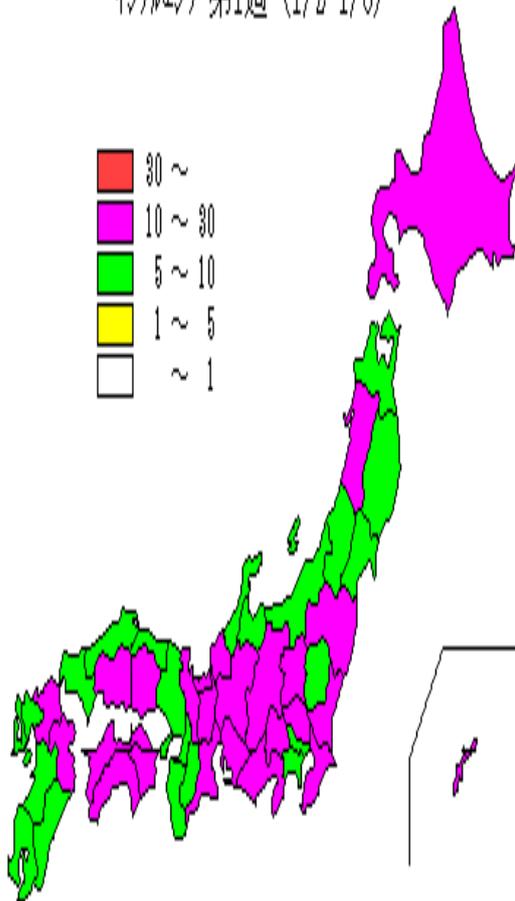
県内は昨年第 51 週、注意報の目安である定点あたり 10 人を超えました。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第1週 (1/2~1/8)

全国の患者報告数は、定点あたり 10.6 人となり、前週の定点あたり 8.54 人より増加しました。42 都府県で前週より報告数が増加しています。

インフルエンザ第1週 (1/2-1/8)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	10.84	滋賀県	15.15
青森県	7.28	京都府	12.23
岩手県	9.09	大阪府	7.77
宮城県	7.31	兵庫県	7.03
秋田県	18.30	奈良県	6.06
山形県	6.44	和歌山県	5.78
福島県	12.40	鳥取県	7.24
茨城県	17.30	島根県	6.13
栃木県	8.95	岡山県	10.68
群馬県	11.18	広島県	11.01
埼玉県	13.55	山口県	6.01
千葉県	12.34	徳島県	10.05
東京都	9.22	香川県	10.62
神奈川県	9.05	愛媛県	10.26
新潟県	7.80	高知県	10.21
富山県	7.06	福岡県	10.78
石川県	8.35	佐賀県	6.74
福井県	13.69	長崎県	6.89
山梨県	10.20	熊本県	8.14
長野県	11.07	大分県	10.81
岐阜県	19.87	宮崎県	9.42
静岡県	12.32	鹿児島県	5.63
愛知県	18.25	沖縄県	17.93
三重県	12.61	全国	10.6